

応募方法	各題2句・8句1組。何組でも応募できます(自作・未発表作品に限ります)。 ●専用の応募用紙(右ページ)を使用し、郵送または当館に直接お持ちください。 ※本大会では、FAXやメールによるご応募は受け付けません。ご了承ください。 ●応募用紙はコピー可。当館ホームページからもプリントアウトできます。また、ご請求いただければお送りします。 ●楷書ではっきりお書きください。 ●応募作品の訂正や選考経過に関するお問い合わせには応じられません。ご了承ください。 ●宿題を応募された方は、当日題の投句料(1,000円)が無料となります。
応募料	1組につき1,000円を定額小為替、現金書留などで応募用紙とともにお送りください。当館に直接お持ちいただいても結構です。
応募先	024-8503(郵便の場合、以下住所不要) 岩手県北上市本石町2-5-60 日本現代詩歌文学館 現代川柳の集い 係
賞	第7回 現代川柳の集い賞、選者特選賞ほか(当日発表)
入選作品集	宿題・当日題の応募者全員に1冊ずつ、後日お送りします。

※個人情報は、入選作品集の作成および発送に使用いたします。

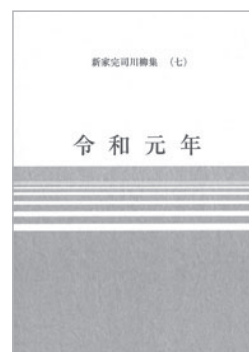
※入選者につきましては、氏名・お住まいの市区町村までを報道機関や関係者へも提供いたします。

※新型コロナウイルス感染症の影響ほか、情勢によりやむを得ず内容を変更する場合があります。予めご了承ください。

第7回 日本現代詩歌文学館館長賞

しん け かん じ
新家完司

『令和元年』(令和元年 新葉館出版)



受賞者略歴

昭和17年、大阪生まれ。現在、川柳塔社理事長。全日本川柳協会常任幹事。日本現代詩歌文学館振興会評議員。毎日新聞山陰柳壇選者。しんぶん赤旗「読者の文芸」川柳欄選者。

川柳集に『平成元年』『平成五年』『平成十年』『平成十五年』『平成二十年』『平成二十五年』『令和元年』、評論に『川柳の理論と実践』がある。

対象

平成29年1月から令和2年12月までの間に刊行された最も優れた川柳句集に贈る。

選考

一般社団法人 全日本川柳協会からの推薦により決定する。

受賞作品

- 第1回(平成9年) 森中恵美子『仁王の口』
- 第2回(平成13年) 大野風柳『定本 大野風柳句集』
- 第3回(平成17年) 今川乱魚『癌と闘う』
- 第4回(平成21年) 大木俊秀『満天』
- 第5回(平成25年) 田中新一『生きる』
- 第6回(平成29年) 梅崎流青『飯茶碗』